

令和2年度公益財団法人高知県文化財団事業報告

1 令和2年度事業報告

高知県から、美術館、歴史民俗資料館、坂本龍馬記念館、文学館、埋蔵文化財センターの管理運営に関する指定管理者制度に基づく指定を受け、県民サービスの向上と経営の効率化の視点に立った運営に努めた。また、芸術文化活動の振興に資する様々な事業や埋蔵文化財の発掘調査事業などを実施した。

(1) 総務部

ア 文化振興事業

(ア) アーツカウンシルを核とした地域での芸術文化事業の創出等

県民の文化芸術活動を支援し、「文化芸術の力で心豊かに暮らせる高知県」の実現に向け、文化芸術振興組織（アーツカウンシル）の機能を充実し、文化芸術振興事業を行った。

a 人材育成事業

開催日	内容	講師等	参加者数
R2. 9. 5 (土)	vol.1 「まちとアートをつなぐ」 ※Zoomオンラインでの開催	NPO法人BEPPU PROJECT 代表理事 山出淳也氏	18人
R2. 10. 17 (土)	vol.2 「ゆるりとつぶやきをつなぐ」	株式会社わらびの 代表取締役 畠中智子氏	11人
R2. 11. 14 (土)	vol.3 「アイデアは世界を変える」	株式会社人生は上々だ 代表 村上モリロー氏	14人
R2. 12. 5 (土)	vol.4 「土地のチカラを引き出すデザイン」	梅原デザイン事務所 代表 梅原真氏	25人
R3. 1. 30 (土)	vol.5 「ファンドレイジング（資金調達力）」 ※Zoomオンラインでの開催	ファンドレイジング・ラボ 代表 徳永洋子氏	17人
R3. 3. 14 (日)	vol.6 「ミュージックツーリズムを通じた地域活性化の可能性」 ※Zoomオンラインでの開催	流通経済大学経済学部 准教授 八木良太氏	10人

b 情報発信事業

アーツカウンシル高知ホームページにある高知の表現者の情報をデータベース化した「芸事図鑑」に26団体を登録

c 文化芸術事業に関する相談事業

文化芸術に関する相談を、電話やメール・面談により19件行った。

(イ) 情報誌の発行、広報活動

a 「(公財) 高知県文化財団ミュージアム・イベントガイド」の発行・配布

高知県文化財団が指定管理者として管理運営を委託されている5施設と文化財団総務部が行うイベントをまとめたリーフレットを作成、配布した。

b 「高知県文化財団ミュージアムスタンプラリー」の発行・配布

高知県文化財団が指定管理者として管理運営を委託されている県立美術館をはじめとする5つの施設が、夏休みに行うプログラムを子供向けにまとめた印刷物を作成し、県内全小学校の児

童等に配布した。施設のスタンプラリーも実施し、集めたスタンプ数に対して、年間ミュージアムパスポートや各施設のオリジナルグッズ等を進呈した。

(ウ) 子どもを対象としたアウトリーチ事業

幼少時から芸術文化に親しむ機会を提供することと、各施設の広報宣伝を目的に、イオンモール高知を会場にしたワークショップ（「Bunkazaidanこどもクラブ」）を開催した。

開催日	内容	講師等	参加者数 (延べ)
R2. 4. 18 (土)	⇒新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止	なかひらじゅんこ	—
R2. 7. 18 (土)	つやつや夏のブローチを作ろう	あきやまひろみ	54人
R2. 8. 21 (金)	米袋小物入れに絵を描こう ⇒新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止	タカハシカヨコ	—
R2. 10. 11 (日)	ジャックオランタンのかぶりものを作ろう	井関さおり (造形教室)	43人
R2. 12. 6 (日)	クリスマスミニコンサート ⇒新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止	サンドイッチパーラー	—
R3. 1. 16 (土)	まいぶん出前考古学教室 ⇒新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止	高知県立埋蔵文化財センター	—

イ 高知県芸術祭開催事業

県民の文化芸術に接する機会を増やし、県民自ら参加する文化芸術活動の促進に努め、文化の息づく郷土づくりを進めるため第70回高知県芸術祭を開催した。新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となった70周年記念イベント公演に代わり「チェコ・フィルハーモニー・ゾリステン&濱口典子 (ピアノ)」のDVDの無料配布、Webでの無料配信を行った。

その他、《地域×アート》をコンセプトに高知県内で開催される文化芸術活動を助成する「KOCHI ART PROJECTS (KAP)」、新型コロナウイルスの感染拡大により、活動自粛を余儀なくされた県内の芸術文化関係団体などが、その活動を再開・継続する際に求められる感染防止対策に必要な経費を支援する「KOCHI ART PROJECTS」助成金 (新型コロナウイルス感染症対策)、「第49回高知県芸術祭文芸賞」等の事業を実施した。

芸術祭開催期間：R2. 9. 12(土)～12. 15 (火)

(ア) 芸術祭参加事業数 [() 内は前年度数]

行事区分	事業数
助成事業 (KAP)	13 (13)
主催行事	2 (3)
共催行事	19 (21)
協賛行事	52 (46)
計	86 (83)

(イ) 参加者数 [() 内は前年度数]

行事区分	参加者数
助成事業 (KAP)	2,535人 (10,274人)
プレイベント	— (2,152人)
主催行事	806人 (866人)
共催行事	51,142人 (78,821人)
協賛行事	50,978人 (64,290人)
計	105,461人 (156,403人)

(ウ) KOCHI ART PROJECTS (KAP) 助成事業

団体名	事業名	実施期日	分野	助成額 (千円)
冬の夏祭り実行委員会	赤岡てらこや2020「あかおかJIZOづくり」	R2. 9. 12(土)～ 12. 6(日)	総合文化	300
すてきなまち・ 赤岡プロジェクト	襖学 (ふすまなび)	R2. 9. 13(日)～ 12. 6(日)	総合文化	300
廣瀬 真也 (越知町地域おこし協力隊)	五感であそぶ おち新世界体験	R2. 10. 24(土)～ 11. 1(日)	総合文化	300
エンドオブライフ・ ケア高知	映画「いきたひ」上映と監督による講演及びフラ「祈り」の賛助出演	R2. 10. 24(土)～ 10. 25(日)	映画	200
いしはらの里協議会	いしはら音楽祭～モミジ彩る三宝 山地福寺コンサート～	R2. 10. 31(土)	音楽	300
サンドイッチパーラー	海辺の冬フェス2020	R2. 11. 23(月・祝)	音楽	291
村のカンパニー東風	ウマジアートブリッジvol.4馬路 村をフィールドにしたアーティスト インレジデンス事業—発掘される 地域の魅力—	R2. 9. 6(日)～ 11. 15(日)	美術	300
松葉川青年団	第二回いとひょう沈下橋アート プロジェクト	R2. 11. 14(土)～ 12. 14(月)	美術	300
土佐和紙未来プロジェクト 実行委員会	土佐和紙未来学校プロジェクト 2020	R2. 11. 19(木)～ 12. 15(火)	舞踊・ ダンス	268
土佐清水からドライブイン シアター文化をつくる会	懐かしい未来を土佐清水から発信！ 車に乗って鑑賞する休校映画館	R2. 11. 22(日)	映画	300
特定非営利活動法人 地域文化計画	Artist in residence Kochi 2020	R2. 11. 16(月)～ 12. 15(火)	美術	298
松村紫乃&グループ琴	土佐を想う箏～紡ぐ～Concert	R2. 11. 29(日)・ 12. 6(日)	音楽	200
Empty space× 幡多高校生ゼミナール	高知県被爆者の肖像、遠洋漁業の 記憶2020	R2. 12. 12(土)～ 12. 13(日)	総合文化	150
		計	13件	3,507

(エ) KOCHI ART PROJECTS助成金 (新型コロナウイルス感染症対策)

団体名	事業名	助成額 (千円)
特定非営利活動法人 高知市子ども劇場	高知市こども劇場低学年例会 人形劇団ひとみ座公演「はれときどきぶた」	93
吉田 健一	パフォーマンスカンパニー to R mansion 表現ワークショップ	100
株式会社シネマ四国	映画『“樹木希林”を生きる』上映会	98
琴古流尺八竹童社藤寿会高知支部	伝統文化音楽地唄、箏曲、尺八本曲演奏会 「純邦楽 今・昔聴きくらべ」より	24
田中 涼華	芸術って身近だよ？展	100
白木谷国際現代美術館	現代作家20名の明るく、楽しく、頑張るぞー展	74
高知県三曲協会	令和2年度第70回高知県芸術祭協賛行事「三曲演奏会」	48
菊由瀬会	絃に魅せられて75年 地歌箏曲演奏会	87
Masako Ballet Works	Masako Ballet Works 10th Anniversary performance	85
土佐清水商工会議所	ウラシマコタロウ	100
ヨシダワークス	細川貴司 演劇ワークショップ	49
家庭倫理の会・高知	しきなみ短歌の世界 初心者教室	4
特定非営利活動法人NPO砂浜美術館	第26回潮風のキルト展	100
ササオカミホ	知覚実験vol.0 「無意味の意味」	81
ル・ゾン・ドウ・アッシュ	ピアノトリオコンサートvol.3	100
都山流尺八高知県支部	都山流尺八高知県支部令和2年度定期演奏会	28
高知県映画上映団体ネットワーク	シネマの食堂2020 映画『イエスタデイ』と夜は野外上映	15
日本コリア協会・高知	映画「マルモイ」上映会	16
高知少年少女合唱団	高知少年少女合唱団 第36回定期演奏会	45
こうちまんがフェスティバル2020 実行委員会	こうちまんがフェスティバル2020 まんさい18th オンライン	100
特定非営利活動法人なとわ	第7回なとわ大感謝コンサート	100
Modern Ballet Studio SPROUT	Modern Ballet Studio SPROUT 発表会	100
有限会社特選呉服いしはら	秋の出会い茶会	70
TAKEUCHI ピアノ・ヴァイオリン教室	TAKEUCHI ピアノ・ヴァイオリン教室 第11回ウィンターコンサート	39
高知コンサート・グループ香南支部	高知コンサート・グループ香南支部 第12回定期演奏会「音楽の贈り物」	69
高知ビッグバンド	生演奏で元気にするdo ディナーライブ	79
高知県ピアノ指導者協会	高知県ピアノ指導者協会2020年度例会コンサート 「音楽の玉手箱partⅢ ～みんなにエールを!!～」	8
どんどこ巨大紙相撲実行委員会	どんどこ！巨大紙相撲 桜座場所	80
高知香南ジュニアオーケストラ	第16回高知香南ジュニアオーケストラ定期演奏会	63
高知市民合唱団	第43回高知市民合唱団 定期演奏会	82
カズダンススクール	第17回カズダンススクール発表会	99
梶原町芸術祭実行委員会	第7回梶原町芸術祭	67
宿毛寄席実行委員会	宿毛歴史講談「宿毛寄席in林邸」	100
シンフォニア0311	『げげますから、よろしくおねがいます。』高知上映会	100
矢野絢子	矢野絢子春の大感謝祭！ リクエストライブYouTube生配信	100

南十字星	OVER THE CORONA MUSIC TO OUR HOPE at 不破神社	100
特定非営利活動法人 こうち音の文化振興会	音楽と落語の会	75
国際ソロプチミストよさこい高知	国際ソロプチミストよさこい高知チャリティー・コンサート	32
組紐サークル	第5回 組紐・組物展	100
特定非営利活動法人暮らすさき	令和2年度須崎市社会参加支援事業	100
計	40件	2,910

(オ) 主催行事

「チェコ・フィルハーモニー・ゾリステン&濱口典子」DVD無料配布及びWeb配信
 ・DVD配布 244人 ・Web配信 35人

(カ) 文芸賞 [() 内は前年度数]

	応募総数	応募人数	文芸賞	奨励賞	佳作
短編小説	35 (37)	35 (37)	1	2	0
詩	52 (47)	52 (47)	1	5	5
短歌	334 (317)	122 (121)	1	5	5
俳句	686 (717)	199 (255)	1	5	10
川柳	538 (473)	119 (108)	1	5	9
計	1,645 (1,591)	527 (568)	5	22	29

ウ 文化事業に対する助成事業

(ア) 高知県文化財団文化事業助成金の交付

文化関係団体等の行う文化事業に対して助成金を交付し、県内文化の振興発展に努めた。

団体名	事業名	実施期日	分野	助成額 (千円)
海ギャラ Chill out 実行委員会	海ギャラChill out ～竜串に東大から遍 路小屋が旅して来る～	R2. 11. 7(土)～ 11. 29(日)	総合文化	361
七色Station合同会社	土佐和紙 七色の文化継承事業	R3. 3. 31(水)	総合文化	200
よさこい文化協会	よさこい“原点”調査・研究プロジェクト ～正調よさこい・武政英策音楽を中心とし て～	R2. 4. 1(水)～ 12. 31(木)	総合文化	300
『小筑紫村の方言と 習俗』を刊行する会	『小筑紫村の方言と習俗』の刊行	R2. 12. 12(土)	総合文化	400
NPO法人高知こどもの 図書館	へいわってすてきだね2020 ～こどもの本が語る戦後75年～ 企画展と冊子の作成、発行	R2. 8. 1(土)～ 8. 31(月)	総合文化	53
	計		5件	1,314

(イ) 県内の文化団体が実施する事業の共催・後援による支援

県内で実施される芸術文化事業への名義後援を行った。

令和2年度後援事業：「第28回右城暮石頭彰吉野川全国俳句大会」他、3事業

(2) 美術館

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休館（4/10～5/10）や一部事業が変更・中止となるなど、来館者数にも大きな影響が出ることとなったが、様々な感染症対策を行いながら例年同様に展覧会の開催や美術館ホールでの自主事業等の実施に努めた。

企画展では、館蔵品を多角的に紹介する「収集→保存」展、西洋美術の展開に重要な影響を与えた古代ギリシャ・ローマ神話を題材にした作品を紹介する「西洋近代美術にみる神話の世界」展、稀代の浮世絵師・葛飾北斎が描いた膨大なスケッチ画集を展示する「北斎漫画」展、当館の二大コレクションの一角を成す石元泰博の生誕100周年を記念する回顧展、そして2020東京オリンピックのメイン会場となる新国立競技場の設計に携わり、梶原のユニークな建築群で本県にもゆかりある建築家・隈研吾の全貌を紹介する特別展を開催するとともに、関連企画として、講演会や映画上映、担当学芸員によるサタデーレクチャー等を開催した。

常設展では、当館の二大コレクションであるマルク・シャガールと石元泰博の作品について、それぞれ複数の魅力的なテーマを設定して展示するとともに、その他の収蔵品の中からテーマに沿って厳選した作品や新収蔵品等の紹介、本県出身の作家「竹崎和征」に焦点をあてた「アーティスト・フォーカス#01」を開催した。

美術館ホールの自主事業としては、国内の文化芸術活動の再始動を後押しするために、日本芸能実演家団体協議会とともに文化庁「令和2年度戦略的芸術文化創造推進事業」ジャパン・ライブエール・プロジェクトに参画し、10月から3月にかけて、美術館だけでなく県内各地で多彩な文化芸術活動を展開した。

教育普及活動としては、美術と美術館に親しみ、楽しんでもらうために、展覧会等に関連した講演会やワークショップを実施したほか、展示室、コレクション、専門スタッフといった美術館ならではの資源を子ども達の育成につなげるため、学校と連携した活動（スクールプログラム）を館内外で積極的に進めた。

さらに、芸術文化創造・発表の場として、県民ギャラリーや美術館ホール等の貸出を行った。

ア 美術館利用状況

(ア) 展覧会等

展 覧 会		入館者	利用料金	備 考
主 催	常設展（コレクション展）	4,922人	1,362千円	(主催展の入館者内訳) ※特別展は除く 一 般 : 12,027人 大 学 生 : 664人 小中高生等 : 1,648人 減免・招待者等 : 9,404人
	企画展	18,821人	9,735千円	
	特別展	8,630人	—	
	美術館ホール等	5,344人	4,558千円	
	計	37,717人	15,655千円	
貸 館	オールドパワー文化展	2,496人	—	(ホール等の入場者内訳) 一 般 : 3,363人 小中高大生 : 119人 減免・招待者等 : 1,862人
	スピリットアート展	3,667人	—	
	県展	7,151人	—	
	こども県展	6,221人	—	
	高知県女流展	3,311人	—	
計	22,846人	—		
美術館ホール		12,168人	5,823千円	利用日数 : 162日
県民ギャラリー・企画展示室		5,208人	4,864千円	利用日数 : 127日
会議室・講義室・創作室		—	96千円	件 数 : 6件
写真撮影等		—	79千円	件 数 : 32件
合 計		77,939人	26,517千円	

(イ) その他の事業

	事業名	利用者数
館内	展覧会関連企画（サタデーレクチャー、講演会、映画上映会等）	434人
	高知サマープロジェクト	2,033人
	学校団体鑑賞受け入れ（ミュージアムバスツアー）	524人
	教員向け鑑賞講座（ティーチャーズ・ウィーク）	22人
	共催事業・舞台公演関連企画等	741人
館外	出前びじゅつ講座	353人
	出前クラシック教室	34人
	出前演劇教室	160人
	出前音楽教室	174人
	共催事業・舞台公演関連企画等	580人
計		5,055人

(ア)+(イ) 利用者数総計 82,994人

イ 外部資金（助成金、補助金、賞金）

交付団体	交付先事業	金額
公益財団法人 日本芸能実演家団体協議会 文化庁「戦略的芸術文化創造 推進事業」	高知ライブエール・プロジェクト ①グラビティ&アザーミス 「現代サーカス公開オンラインワークショップ」 ②「Washi+わ（た）したちのお道具箱」 ③「蛸蔵ラボVol.7」 ④アーティスト・フォーカス #01 竹崎和征 「雨が降って晴れた日」 ⑤「空を駆けるサーカス」 ⑥「WHIST」公演 ⑦無声映画×ライブ演奏 「フリッツ・ラングVSエルンスト・ルビッチ」 ⑧「サエボーグ Cycle of L」 ⑨「津野山神楽を舞う」 ⑩「遠藤真理&吉田秀デュオコンサート」 ⑪「Co.山田うん いきのね」公演 ⑫「青山実験工房 高知公演」 ⑬カンパニーデラシネラ「はだかの王様」 ホール公演、出前演劇公演 ⑭地域のアトリエ#3 ⑮出前クラシック教室 ⑯出前音楽教室 アジアの楽器「ガムラン練習曲を作る」	50,000千円
独立行政法人日本芸術文化振 興会「芸術文化振興基金助成 金」	生誕100周年・石元泰博写真展	2,800千円
	冬の定期上映会「ATGとその時代」	674千円
一般財団法人地域創造 「地域の文化・芸術活動助成 事業」	高知県立美術館クリエイションシリーズ カンパニーデラシネラ「はだかの王様」	3,305千円
公益財団法人 朝日新聞文化財団	高知県立美術館アーティスト・フォーカス #01 「竹崎和征」	200千円

文化庁「文化芸術振興費補助金(文化施設の感染症防止対策事業)」	美術館内の感染症対策	782千円
合 計		57,761千円

ウ 展覧会開催事業

(ア) 常設展(コレクション展)

a シャガール・コレクション展(第1展示室)

展 覧 会 名	会 期	日数	観覧者
第1回シャガール・コレクション展 聖書①	R2.4.28(火)～6.21(日) (4.10～5.10 休館)	42日	2,799人
第2回シャガール・コレクション展 聖書②	R2.6.23(火)～8.23(日)	62日	4,674人
第3回シャガール・コレクション展 聖書③	R2.8.25(火)～10.25(日)	62日	10,737人
第4回シャガール・コレクション展 ラ・フォンテーヌの「寓話」①	R3.1.16(土)～2.28(日)	44日	1,745人
第5回シャガール・コレクション展 ラ・フォンテーヌの「寓話」②	R3.3.2(火)～4.25(日)	55日	1,154人 (3月末まで)
合 計		265日	21,109人

※ 観覧者数は企画展も含む

b 石元泰博コレクション展(石元泰博展示室)

展 覧 会 名	会 期	日数	観覧者
令和元年度 第2回石元泰博コレクション展 「両界曼荼羅」	R2.3.3(火)～5.25(月) (3.6～22、4.10～5.10 休館)	36日	932人
第1回石元泰博コレクション展 「都市」	R2.5.30(土)～9.6(日)	100日	5,150人
第2回石元泰博コレクション展 「選挙」	R2.9.8(火)～10.25(日)	48日	1,673人
第3回石元泰博コレクション展 「湖国の十一面観音」	R2.11.3(火・祝)～R3.1.3(日)	56日	1,317人
企画展 「生誕100周年・石元泰博写真展」	R3.1.16(土)～3.14(日)	58日	3,911人
合 計		298日	12,983人

※観覧者数は企画展も含む

c コレクション・テーマ展(第4展示室)

展 覧 会 名	会 期	日数	観覧者
没後100年 マックス・クリンガー版画展	R2.4.2(木)～6.7(日) (4.10～5.10 休館)	36日	1,449人
星加コレクション・映画ポスター展	R2.6.10(水)～8.2(日)	54日	3,665人

高知ライブエール・プロジェクト 高知県立美術館アーティスト・フォーカス #01「竹崎和征」	R2. 10. 25(日)～12. 20(日)	57日	1,893人
綴る画家たち-言葉と絵画の交流史	R2. 12. 24(木)～R3. 2. 27(土)	60日	1,477人
合 計		207日	8,484人

※ 観覧者数は企画展も含む

(イ) 企画展

展 覧 会 名	会 期	日数	観覧者
収集→保存 あつめてのこす	R2. 4. 4(土)～5. 17(日) (4. 10～5. 10休館)	13日	806人
西洋近代美術にみる神話の世界	R2. 5. 30(土)～7. 12(日)	44日	7,282人
浦上コレクション 北斎漫画	R2. 8. 10(月・祝)～9. 27(日)	49日	6,822人
生誕100周年 石元泰博写真展	R3. 1. 16(土)～3. 14(日)	58日	3,911人
合 計		164日	18,821人

(ウ) 特別展

展 覧 会 名	会 期	日数	観覧者
隈研吾展 新しい公共性をつくるためのネ コの5原則	R2. 11. 3(火・祝)～R3. 1. 3(日)	56日	8,630人

エ 教育普及事業

(ア) 展覧会開催関連企画

a サタデーレクチャー

展 覧 会 名	実施日 等	参加者
西洋近代美術にみる神話の世界	R2. 6. 6 (土) 「マックス・クリンガーと神話」	25人
	R2. 6. 27 (土) 「描かれた神話世界ーイギリスを中心 に」	47人
生誕100周年 石元泰博写真展	R3. 2. 27 (土) 「石元泰博のシカゴ時代」	22人
参加者合計		94人

b 講演会等

展 覧 会 名	実施日・内容 等	参加者
浦上コレクション 北斎漫画	R2. 8. 10 (月・祝) 開会記念イベント&記念講演会 「世界を驚かせた北斎と『北斎漫画』」 講師：浦上満氏 (浦上蒼穹堂 代表)	87人

c 展覧会関連イベント、ワークショップ

展覧会名	実施日・内容等	参加者
収集→保存 あつめてのこす	R2. 6. 28 (日) 映画上映会「アートのお値段」	33人
西洋近代美術にみる神話の世界	R2. 6. 14 (日) 映画上映会 ベルリン・オリンピック記録映画「オリンピア」	42人
	R2. 6. 24 (水)、6. 25 (木) プラネタリウムでギリシャ神話のお話 会場: 高知みらい科学館プラネタリウム	83人
生誕100周年 石元泰博写真展	R3. 1. 22 (金) 映画上映会「ニュー・バウハウス」	95人
参加者合計		253人

(イ) 高知サマープロジェクト

イベント名	開催日	内容	入場者
マテリアルミュージアム 高知で見つけたステキな 廃材	R2. 8. 11(火)～ 9. 6 (日)	大月ヒロ子氏による「クリエイティブリユース」をテーマに県内企業等から収集した廃材等の分類・展示	2,033人

(ウ) 開館記念日イベント、お正月イベント

イベント名	開催日	内容	入場者
開館記念日イベント	R2. 11. 3(火・祝)	高知ライブエール・プロジェクト 「空を駆けるサーカス」(駐車場)	約1,200人
お正月イベント	R3. 1. 3(日)	高知ライブエール・プロジェクト 「津野山神楽」	442人
入場者合計			1,642人

(エ) 大学等からの博物館実習生等の受け入れ
博物館実習 1人

(オ) スクール・プログラム

a 出前びじゅつ講座

開催校名	実施日	参加者
高知市立江陽小学校ほか 全4校	R2. 9. 29(火)ほか 全7日	353人

b 出前クラシック教室

開催校名	実施日	参加者
四万十町立興津小中学校ほか 全2校	R2. 10. 31(土)ほか 全2日	34人

c 出前演劇教室

開催校名	実施日	参加者
土佐町立土佐町小学校	R3. 2. 24(水)	160人

d 出前音楽教室

開催校名	実施日	参加者
高知市立春野東小学校	R2. 10. 27 (火) ~10. 30 (金) R3. 1. 12 (火) ~練習 R3. 3. 12 (金) 発表会	174人

e 学校団体鑑賞等受け入れ

受け入れ件数	実施日	参加者
土佐塾高等学校ほか 全13件	R2. 7. 1(水)ほか 全16日	524人

f 教員向け鑑賞講座 (ティーチャーズ・ウィーク)

対象展覧会	実施日	参加者
西洋近代美術にみる神話の世界ほか 全4件	R2. 6. 7(日)~6. 14(日)ほか 全29日	22人

g 講師派遣

実施団体名	実施日	参加者
日本写真学会 画像保存セミナー講師 ほか 全13件	—	—

オ 石元泰博フォトセンター事業

(ア) 「深める」活動 (保存管理、調査研究、収集)

館内ではプリント・フィルム等の内容確認及び整理作業を優先的に行い、その一方で公開用データベース構築のための作業も進めた。館外では作品・文献調査等を行った。

(イ) 「広める」活動 (展示公開、著作権管理)

石元泰博展示室を拠点にコレクションを年5回の展示替で常設公開した。著作権の適切な管理などを進め、コレクション情報の部分的なウェブ公開にも努めた。

(ウ) 「つなぐ」活動 (教育普及)

土佐市スクール・プログラム事業として高岡第二小学校、北原小学校の2校を実施した他、土佐市教育委員会と協同し「生誕100年 石元泰博写真展」に合わせ希望する土佐市内の小学校、中学校の受け入れを行った。

カ 美術館ホール事業

(ア) 舞台公演等

公 演 名	開 催 日	入場者等
高知パフォーミング・アーツ・フェスティバル2020 高知県立美術館舞台公演シリーズ 「グラビティ&アザーミス」公演	R2. 10. 10(土)、10. 11(日) ※令和4年に延期	—
高知ライブエール・プロジェクト グラビティ&アザーミス 「現代サーカス公開オンラインワークショップ」	R2. 10. 11(日)	56人
高知ライブエール・プロジェクト 「空を駆けるサーカス」(駐車場) (再掲)	R2. 11. 3(火・祝)	約 1,200人
高知ライブエール・プロジェクト 高知県立美術館舞台公演シリーズ 「WHIST」公演(54回) (県民ギャラリー)	R2. 11. 7(土)～11. 15(日)	495人
高知ライブエール・プロジェクト 「サエボーグ Cycle of L」特別展(県民ギャラリー)	R2. 12. 9(水)～12. 14(月)	515人
高知ライブエール・プロジェクト 「サエボーグ Cycle of L」パフォーマンス	R2. 12. 16(水)～12. 18(金)	208人
高知ライブエール・プロジェクト 「津野山神楽を舞う」(再掲)	R3. 1. 3(日)	442人
高知ライブエール・プロジェクト 「遠藤真理&吉田秀デュオコンサート」 (県民ギャラリー)	R3. 1. 10(日)	230人
高知ライブエール・プロジェクト 「Co. 山田うん いきのね」公演	R3. 2. 11(木・祝)	247人
高知ライブエール・プロジェクト 「青山実験工房 高知公演」	R3. 2. 16(火)	117人
高知ライブエール・プロジェクト 高知県立美術館クリエイションシリーズ カンパニーデラシネラ「はだかの王様」	R3. 3. 6(土)、3. 7(日)	228人
高知ライブエール・プロジェクト 出前クラシック教室(2回) 四万十町立興津小学校 外1校 (再掲)	R2. 10. 31(土)、11. 5(木)	34人
高知ライブエール・プロジェクト 出前演劇教室 「はだかの王様」土佐町小学校 (再掲)	R3. 2. 24(水)	160人
高知ライブエール・プロジェクト 地域のアトリエ#3	R2. 5. 8(金)～延べ15日	—
高知ライブエール・プロジェクト 出前音楽教室 アジアの楽器「ガムラン練習曲を作る」 春野東小学校 (再掲)	R2. 10. 27(火)～10. 30(金) R3. 1. 12(火)～練習 R3. 3. 12(金) 発表会	174人
入場者合計		4,106人

(イ) 定期上映会

事業名	開催日	入場者
春の定期上映会 「韓国映画界の怪物 キム・ギヨン監督特集」	R2. 7. 26 (日)、8. 1 (土)、 8. 2 (日)	368人
夏の定期上映会 「真夏に味わうSF&ホラー ～ウルトラQ、ウルトラマン、大林宣彦～」	R2. 8. 15(土)、 8. 16(日)	349人
高知ライブエール・プロジェクト 秋の定期上映会 無声映画×ライブ演奏 「フリッツ・ラング VS エルンスト・ルビッチ」	R2. 11. 18(水)～11. 22(日)	526人
冬の定期上映会 「ATGとその時代」	R3. 1. 23(土)、 1. 24(日)	363人
入場者合計		1,606人

(ウ) 共催事業

事業名	開催日	入場者
演劇祭KOCHI 2020	※中止	—
四万十川国際音楽祭2020 (四万十市立文化センター他)	R2. 9. 27 (日)、R3. 3. 14 (日)	112人
Washi+ Performing Arts? Project 2020	R2. 8. 22(土)	42人
シネマの食堂2020	R2. 9. 27 (日)	270人
高知市こども劇場 創立五十年記念特別講演 「茂山狂言へ！そろりとまいろう！！」	R2. 11. 14 (土)	429人
入場者合計		853人

(エ) 舞台公演関連企画

事業名	開催日	参加者
高知ライブエール・プロジェクト Washi+わ(た)したちのお道具箱 (いの町紙の博物館)	R2. 10. 16 (金)～10. 18 (日)	156人
高知ライブエール・プロジェクト 蛸蔵ラボVol.7 (高知市「蛸蔵」)	R2. 10. 17 (土)、10. 18 (日)	91人
高知ライブエール・プロジェクト 「遠藤真理&吉田秀デュオコンサート」 (四万十市立文化センター)	R3. 1. 11 (月・祝)	221人
入場者合計		468人

キ 文化芸術の海外拠点形成事業

当館は、長年にわたり国内外の優れた作品を紹介してきたことで日本の芸術発信拠点の一つとして認知されつつあることから、新たな文化創造と国際的な発信の拠点となる取り組みとして、国内外のアーティストを招聘し、長期滞在型創造プログラムを実施しているが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり実施を見送った。

(3) 歴史民俗資料館

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館とした期間（4月10日～5月10日）があり、それに伴って企画展「補陀洛東門開く 蹉跎山金剛福寺」の会期を4月24日～6月28日から5月11日～7月19日に変更した。また、企画展「土佐人 山本忠興と近代オリンピック」は展示室等の吊り天井改修工事による休館期間の延長もあり、令和3年度開催へと会期を変更した。企画展のほかに、新型コロナウイルス感染症の一日も早い終息を願う意味を込め、病気を追い払う祈りの文化を紹介するコーナー展「疫病退散」を開催した。

例年開催してきた4月の「岡豊山さくらまつり」（第11回土佐の食1グランプリ）、5月3日「れきみんの日」（開館記念日・観覧無料日）、5月の「第11回長宗我部フェス」も今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を見送った。

9月7日から、館内吊り天井改修工事実施のため休館とした。この工事は、発注者・高知県での工法の変更により、当初の休館期間（令和3年2月28日まで）を延長（令和3年4月28日まで）せざるを得ない状況となった。

平成16年から施設設置者である高知県が当館について承認を受けてきた「公開承認施設」（国宝・重要文化財の公開にふさわしい施設と文化庁長官が認定する制度）は8月18日に承認された（令和7年8月17日まで）。今後も承認されるよう、温湿度や空気環境の管理と改善を実施していく。

また、休館中は、岡豊山歴史公園の利用を促進するべく、山村民家を受付とし、「岡豊城跡をめぐる 土佐の七雄スタンプラリー」を実施した。あわせて、展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」のシステムを導入した。

調査研究関係では、企画展に関するミュージアムトークを実施したほか、企画展の図録『補陀洛東門開く 蹉跎山金剛福寺』を刊行した。また、当館がその使命の一つとして資料の収集・展示や研究を行っている長宗我部氏について、館蔵史料を中心としたパンフレット『史料で読み解く 長宗我部』を刊行した。また、調査・研究成果を掲載した『高知県立歴史民俗資料館研究紀要』第25号を刊行した。

ア 利用状況

(ア) 展覧会 ※催事別は、P.15 イ 企画展等展示関係に記載。

展覧会	入館者(人)	料金(千円)	備考
通常展示	2,960	474	(入館者内訳) ・有料一般 : 2,013人 (37.5%) ・小中高校生 : 386人 (7.2%) ・長寿減免者 : 2,965人 (55.3%)
企画展	2,404	563	
計	5,364	1,037	

(イ) 貸室等

貸室等	利用件数	料金(円)	備考
民家	0件(0人)	0円	
多目的ホール	0件(0人)	0円	

(ウ) 国史跡・岡豊城跡

工事による休館中も山村民家を受付場所とし、岡豊山歴史公園は開園中であることを広報し、「岡豊城跡をめぐる 土佐の七雄スタンプラリー」（デジタル版を含む）を実施し誘客に努めた。

催し等	来園者数	備考
岡豊城跡散策 (スタンプラリー参加者 には記念品を贈呈)	8,567人	岡豊山歴史公園来場者 (民家受付5,315人、 スタンプラリー参加者2,348人含む)

岡豊山さくらまつり	【新型コロナウイルス感染対策のため中止】	
長宗我部フェス	【新型コロナウイルス感染対策のため中止】	
計	8,567人	来場バス台数 14台

イ 企画展等展示関係

(ア) 企画展

企画展名	期間 (休館日を除く開館日数)	観覧者数
補陀洛東門開く 蹉跎山金剛福寺	R2. 5. 11 (月) ~ 7. 19 (日) 69日間 臨時休館日：R2. 7. 1(清掃)	2,404人
土佐人 山本忠興と近代オリンピック	R2. 7. 17 (金) ~ 9. 6 (日) 【新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和3年度に延期】	—
合計 69日間		2,404人

(イ) 通常展示

展示室名	期間	観覧者数
3階総合展示室 2階長宗我部展示室	R2. 4. 1 (水) ~ 9. 6 (日) 127日間	(企画展開催期間を除く) 58日間 2,960人

*休館日：R2. 12. 27~R3. 1. 1

臨時休館日：R2. 7. 1(清掃)、R2. 4. 10~5. 10 (新型コロナウイルス感染拡大防止)、
R2. 9. 7~R3. 4. 28 (吊り天井改修工事のため)

(ウ) 通常展示 コーナー展

a 3階総合展示室

コーナー展名	期間 (休館日を除く開館日数)	観覧者数
疫病退散	R2. 7. 4 (土) ~ 9. 6 (日) 65日間	2,824人

b 2階長宗我部展示室

コーナー展名	期間 (休館日を除く開館日数)	観覧者数
【実績なし】		

c 2階エントランスホール

コーナー展名	期間 (休館日を除く開館日数)	観覧者数
前田博史写真展 「海の処方箋~交わるところ~」	R2. 4. 1 (水) ~ 4. 5 (日) 5日間 (R2. 3. 23(月)~3. 31(火)の9日間は619人)	354人

(エ) フリースペース・ミニギャラリー展示（県民参加型展示企画）

利用目的	展示期間・日数	場 所
「鏡川写楽の会」写真展	R2. 4. 1（水）～4. 9（木） 9日間 （全会期：R2. 3. 25（水）～4. 9（木） 16日間）	フリースペース
野澤文夫写真展 四国遍路 祈	R2. 5. 21（木）～6. 28（日） 39日間	フリースペース
第15回岡豊山フォトコンテスト 作品展示	改修工事による休館のため、令和3年度に変更	フリースペース

ウ 教育普及関係

(ア) 講演会・講座

演 題	講 師	実 施 日	聴講者数
講演会 蹉陀山金剛福寺	金剛福寺住職 長崎 勝教 氏	R2. 4. 26（日） 【新型コロナウイルス感 染拡大防止のため中止】	—
講演会 二十八部衆の起源	(公財)中村元東方研究所 専任研究員 田中 公明 氏	R2. 5. 9（土） 【新型コロナウイルス感 染拡大防止のため中止】	—
講座 仏教考古学講座 1 お経のタイムカプセル —経塚—	当館副館長 岡本 桂典	R2. 6. 6（土） ※定員…130名→60名に	36人
講座 仏教考古学講座 2 お経のタイムカプセル—土佐の経塚—	当館副館長 岡本 桂典	R2. 6. 20（土） ※定員…130名→60名に	54人
		合計 2回	90人

(イ) ミュージアムトーク

トーク名	担当者	実施日	参加者数
補陀洛東門開く 蹉陀山金剛福寺	当館副館長 岡本 桂典	R2. 6. 14（日）新型コロナウイルス感染拡大防止のため 3回→1回 ※定員・20名 希望者多数のため、多目的ホールに場所を変更。一 斉説明の後、各自で展示観覧の方法を取った。	45人
姫魚・赤べこ	当館学芸員 梅野 光興	R2. 8. 16（日） 1回 ※定員・20名	4人
		合計 2回	49人

(ウ) 史跡めぐり・バスツアー

史跡巡りツアー名	講 師	実施日	参加者数
れきみんツアー 幕末維新の道を歩く —津野山街道と維新の群像—	梶原町観光ガイド 津野町観光ガイド	R2. 11. 14（土） 【催行人数に達せず中止】	—

(エ) ワクワクワークなど（展覧会関連企画含む）

タイトル名	講 師	実 施 日	参加者数
「仏像の切り絵」体験	当館職員	R2. 5. 4（月・祝） 【新型コロナウイルス感 染拡大防止のため中止】	—

土佐和紙漆喰張り子 丑の絵付	草流舎 田村 雅昭氏	R2.10.3 (土) ※定員…15名	17人
障子はり	当館学芸専門員 中村 淳子	R2.11.7 (土) ※定員…10名	7人
合 計			24人

エ 学校教育関係

(ア) 学校来館対応

学習メニュー	校数	参加者数	備 考
体験学習	1校	児童10人 引率教員8人	火おこし、昔あそび
解 説	1校	児童3人 引率教員2人	長宗我部氏・昔のくらしの道具、通史など
ビデオ視聴	0	0	
自由見学	0	0	
岡豊山見学	0	0	
計	(延べ2校) 実数1校	(延べ23人) 実数23人	実数には引率者10人を含む

(イ) 出張派遣授業

月 日	学 校 名	主な内容 (担当者)	児童生徒数
R2. 7.10 (金)	南国市立久礼田小学校	「よろいかぶと」に関する説明及び試着体験 (西山、久保)	29人
R2. 8. 4 (火)	高知市立潮江小学校 第二放課後児童クラブ 第一放課後児童クラブ	むかし遊びを楽しむ (中村、久保、佐藤)	30人 35人
R2.10.29 (木) 11. 5 (木)	南国市立北陵中学校	総合的な学習における調べ学習のまとめ方や内容についての助言 (曾我)	18人
R2.11.20 (金)	南国市立久礼田小学校	南国市の史跡めぐり (曾我、西田)	28人
R2.10.7 (水) ～R3. 1.27 (水)	高知大学人文社会科学部	日本文化史Ⅱ (山内忠義にみる日本文化史) (石畑) ※全回オンラインで実施	73人
合 計			213人

(ウ) 職場体験の受け入れ

学 校 名	期 間	人 数
【当初の申込】 高知市・南国市内公立中学校4校	【学校の新型コロナウイルス感染防止対策のため中止】	—

(エ) 博物館実習の受け入れ

大 学 名	期 間	人 数
高知大学	R2.8.21 (金)～30 (日) 7日間 *8.22、26、27は休み	1人

オ 旧大栃高校活用・物部関連事業

事業名	内容	実施日	参加者数
第9回 旧大栃高校民俗資料一般公開	民具等の展示	【秋開催予定のところ、新型コロナウイルス感染防止対策のため開催見送り】	—

カ 地域との連携イベント

南国市や「土佐のまほろば地区振興協議会」など地域の団体と連携、協力して、岡豊山歴史公園を会場にイベントを開催し、地域を盛り上げるとともに、休館中における来園者の確保に取り組んだ。

イベント名	主催者等	実施日	人数
第11回 岡豊山さくらまつり (第11回食1グランプリと同時開催) ※演奏、ダンスなどのステージ、スタンプラリー等	岡豊山さくらまつり実行委員会 (当館、南国市、南国市観光協会、岡豊ふれあい館、土佐のまほろば地区振興協議会、岡豊の史跡を学ぶ会 ほか)	【新型コロナウイルス感染防止対策のため開催見送り】	—
第11回 長宗我部フェス ※鉄砲隊の演武、ステージショー、長宗我部寺子屋等	長宗我部フェス実行委員会 (構成メンバーは上記岡豊山さくらまつり実行委員会とほぼ同じ)	【新型コロナウイルス感染防止対策のため開催見送り】	—
土佐のまほろばウォーク —「れきみん」とまほろばクエスト(8回) ※4/25, 5/28, 12/19は新型コロナウイルス感染防止対策のため中止	土佐のまほろば地区振興協議会	R2. 4. 25 (土) 5. 28 (木) 9. 19 (土) 10. 25 (日) 11. 27 (金) 12. 19 (土) R3. 1. 27 (水) 2. 21 (日)	— — 22人 21人 21人 — 22人 19人
長宗我部元親RALLY 10 th (スタンプラリー)	長宗我部フェス実行委員会、 南国市観光協会 協力：(株)カプコン	R2. 12. 11 (金) ～R3. 1. 31 (日) ※12. 27～1. 1は年末年始につき休止	参加者 193人

キ その他普及事業

事業名	内容	実施日	人数
れきみんの日 ※無料開館 【休館中につき開催見送り】	クイズの陣、ミュージアムトーク等	R2. 5. 3 (日)	—
れきみん！サマーミュージアム スペシャルプログラムdayは 8/8, 16の2日間 ※モノ作り体験コーナーは各回1時間、定員5組以内とした。	教えて学芸員(1人)、クイズに挑戦！(556人)、姫魚・赤べこってなんだ？(214人)、宝さがしゲーム(59人)、脱出ゲーム(59人) 高校生によるモノ作り体験コーナー(57人)等	R2. 8. 1 (土) ～ 8. 23 (日)	8/1～23入館者 1,574人 (うち参加者) 延べ946人
高知県立大学「地域学実習Ⅰ」 受講学生への史跡解説	土佐のまほろば(香長平野)にある史跡等を歩きながら、健康づくりウォークを考える授業の場を提供し、学芸員が史跡等を解説	R2. 9. 30(水)、 10. 18(日)	各回20人 計40人

元親と茶の湯 －「呈茶席」もうけます－	埋蔵文化財センターの展示と、長宗我部氏の文化的な一面を紹介する企画。山村民家で呈茶。	R2. 11. 21 (土)、 11. 22 (日)、 11. 23 (月・祝)	参加者 計65人
れきみのお正月	【休館中につき開催見送】	－	－
合 計			1,679人

ク 吊り天井改修工事による休館中の岡豊山活用対応

展示室の吊り天井改修工事による休館（令和2年9月7日～令和3年4月28日）中にも、岡豊山歴史公園は開園中であることを広報し、公園内の山村民家に職員が常駐し来園者へのインフォメーション機能を持たせたうえで、国史跡・岡豊城跡や山村民家を活用した催しを開催し誘客に努めた。そのうち岡豊城跡をめぐる「土佐の七雄スタンプラリー」は、土佐の戦国期と城跡を紹介するものであるが、高知家健康パスポートの対象事業として健康づくりウォーキングの場としても広報するなど、岡豊山の魅力を発信した。

また、土佐のまほろばウォークでは例年の4回から8回へと倍増させて企画し、岡豊山を起点として周辺史跡も含めた地域全体の歴史を伝える場を増やした。

あわせて、館の図録や新たに制作した御城印バインダーを含むオリジナルグッズを山村民家で販売し、休館中においても販売収入の確保に努めた。

事業名	内容	実施日	人数
岡豊城跡散策	建物休館中も岡豊山歴史公園は開園していることを広報し、散策を楽しんで頂く。	通年	岡豊山歴史公園 来場者8,567人
岡豊城跡をめぐる「土佐の七雄スタンプラリー」	岡豊城跡の説明看板にスタンプを設置し、スタンプラリーを実施。ラリー参加者に記念品を贈呈（2月ごとにデザインを変えた御城印又は缶バッジ）。	R2. 9. 11 (金) ～ R3. 4. 18 (日)	スタンプラリー 参加者2,348人 (3.31まで) (全期間で2,541人。)
元親と茶の湯 －「呈茶席」もうけます－	埋蔵文化財センターの展示と、長宗我部氏の文化的な一面を紹介する企画。山村民家で呈茶。	R2. 11. 21 (土)、 11. 22 (日)、 11. 23 (月・祝)	参加者 計65人
吟行のススメ 岡豊山でひとひねり。 岡豊山投句箱	来園者に岡豊山の自然、歴史、文化に触れながら、作句を楽しんで頂く。投句箱を公園内に設置。作品を館の広報誌等で紹介。	R3. 3. 1 (月) ～ 5. 13 (木)	募集中

(4) 坂本龍馬記念館

令和元年度末に発生した新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、入館者数に影響が及んだが、調査・研究、収集・展示、教育・普及の3つの事業活動については、公益財団法人日本博物館協会のガイドラインに基づいた来館者の感染防止策や、3密の回避と換気の徹底など一連の新型コロナウイルス感染拡大予防策を講じて、感染状況に応じた事業展開により、文化と観光施設としての役割を担った。

企画展示事業については、秋の特別展で施設整備後2回目となる国指定の重要文化財の展示を行い、国の公開承認施設認定への条件達成に尽力し、同施設認定へと近づけた。

その他の企画展においても、それぞれの展示テーマを生かした充実した内容の企画展示を行うとともに、小冊子の発行、担当学芸員によるギャラリートークの実施、企画展のテーマに関連する歴史研究者の記念講演などにより、来館者の満足度を得たと考えている。

教育・普及事業では、「幕末再考 -改革への計と践-」をテーマとして、県内外の研究者による坂本龍馬や幕末に関する最新の研究成果や知見を披露していただく連続講演会(全5回)の開催や、園児から高校生までを対象とした出前授業の実施、校外学習の場として当館を利用していただいた学校への経費の支援や解説の実施、小中学生を対象とした「夏休み子ども教室」の開催など、大人から子どもまで幅広く龍馬の生涯や幕末の歴史を学んでいただく事業を実施した。

その他、コロナ禍におけるPR方策として、記念講演が視聴できるようなホームページの充実やYouTubeを活用した企画展の担当学芸員の展示解説、フェイスブックやインスタグラムを活用した情報発信などの広報活動を行った。加えて、館広報誌「飛騰」の発行や、高知城歴史博物館学芸員等による解説付きの幕末人物銅像をめぐるウォーキングイベントの実施、高知市観光協会主催の「第47回龍馬まつり in 桂浜」への協賛など、関係機関と連携した地域の学習活動を支えるための事業展開に努めた。

ア 坂本龍馬記念館利用状況

展覧会	入館者(人)	観覧料収入(千円)	備 考
常設展・企画展	58,269	25,962	(入館者内訳) 一般 : 41,895人 小中高生 : 9,449人 乳幼児 : 837人 減免・招待者 : 6,088人

イ 企画展

企画展名	期 間	日数	入館者数(人)
「幕末と船 - 万次郎から龍馬へ -」展	R2.4.18(土)~R2.6.23(火) うち、R2.4.18(土)~R2.5.10(日)休館	67 (23)	1,392
記念講演会 担当学芸員によるギャラリートーク	新型コロナウイルス感染拡大 防止により中止		

企画展名	期 間	日数	入館者数 (人)
「手紙の世界 — 龍馬で古文書ことはじめ —」展	R2. 7. 7(火)～R2. 9. 22(火・祝)	78	17,552
記念講演会 「紙をめぐる土佐の文化と政治」 講師：有吉正明 (高知県立紙産業技術センター主任研究員) 高山嘉明 (高知県立坂本龍馬記念館学芸員)	R2. 9. 5(土)		34
担当学芸員によるギャラリートーク	R2. 7. 25(土)と9. 12(土)の2回		
特別展 「薩摩と土佐 — 雄藩がたどった近代化の道 —」展	①前期 R2. 10. 6(火)～R2. 11. 9(月) ②後期 R2. 11. 14(土)～R2. 12. 13(日)	65	22,173
記念講演会 「幕末の薩摩」 講師：松尾千歳(尚古集成館館長)	R2. 11. 14(土)		49
担当学芸員によるギャラリートーク	R2. 10. 17(土)と12. 5(土)の2回		
「龍馬の知恵袋・福井藩」展	①前期 R2. 12. 26(土)～R3. 2. 14(日) ②後期 R3. 2. 18(木)～R3. 3. 31(水) (最終：R3. 4. 4(日))	93	10,051
記念講演会 「容堂公と春嶽公」 講師：角鹿尚計(福井県立郷土歴史博物館館長)	R3. 2. 6(土)		60
担当学芸員によるギャラリートーク	R3. 1. 23(土)と3. 20(土・祝)の2回		
展示替えによる企画展示室等閉室期間	(うち、新型コロナウイルス感染拡大対策のため臨時休館)	57 (8)	6,736
新型コロナウイルス感染防止による臨時休館	R2. 4. 10(金)～5. 10(日)	31	

※()内は内数

ウ 調査研究

事業名	内 容	実 施 日	参加人員 (人)
高知県立坂本龍馬記念館 ・現代龍馬学会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	—	—

エ 教育普及

事業名	内容	実施日	参加人員 (人)
<p>連続講演会(全5回)</p> <p>《テーマ》 幕末再考 ー変革への計と践ー</p>	<p>令和2年度の連続講演会では、激動の幕末期を動かしていった人や組織、人材、考え方などを通して、「幕末」という時代を改めて考えた。</p> <p>① 「幕末の朝暮関係 ー特に朝廷の視点からー」 講師：高山嘉明(高知県立坂本龍馬記念館 学芸員)</p> <p>② 「幕末佐賀藩の近代化と鍋島直正」 講師：藤井祐介(佐賀県立佐賀城本丸歴史館 学芸員)</p> <p>③ 「“志士最後の生き証人” 田中光顕の功績」 講師：藤田有紀(佐川町立青山文庫 学芸員)</p> <p>④ 「毛利敬親の藩政改革」 講師：小山良昌(公益財団法人毛利報公会毛利博物館 顧問)</p> <p>⑤ 「幕臣小栗上野介のビジョン」 講師：高橋 敏(国立歴史民俗博物館 名誉館長)</p> <p>※⑤については、コロナ感染拡大防止により講演会は中止。代わって、講演録に講演予定の内容を寄稿していただいた。</p>	<p>①R2.6.27(土)</p> <p>②R2.8.29(土)</p> <p>③R2.10.24(土)</p> <p>④R2.12.12(土)</p> <p>⑤R3.2.27(土) ⑤は中止</p>	<p>① 50</p> <p>② 51</p> <p>③ 49</p> <p>④ 44</p>
<p>出前授業</p>	<p>当館の学芸員や元学芸専門員による出前授業を実施。</p> <p>授業のみならず、各小学校の児童クラブにも出向き、紙芝居や、元学芸専門員ご夫妻が龍馬とお龍に扮するなどの工夫を加え、幕末や坂本龍馬、当館の説明を行った。園児や小学校低学年から高学年、教師、保護者など幅広い年代を対象にしており、わかりやすい説明を行うことによって、周知・理解を深めた。</p> <p>訪問件数 ① 元学芸専門員：1件 ② 当館学芸員等：17件</p>	<p>通年</p>	<p>732 (教員、保護者を含む)</p> <p>① 12 ② 720</p>
<p>夏休み子ども教室</p>	<p>企画展「手紙の世界-龍馬で古文書ことはじめ」展に関連した工作教室を実施した。企画展を見学後、昔の手紙の書き方に挑戦したり、昔の本のかたち「折本(おりほん)」を作った。</p> <p>○小学1～6年生 講師：当館職員</p>	<p>①R2.8.9(日) AM ②R2.8.9(日) PM</p>	<p>① 4人 ② 5人</p>
<p>学習遠足支援事業</p>	<p>県内の小中学生に坂本龍馬や幕末を知るための校外学習の場として、バスを借り上げて来館した学校に対して、その借り上げ費用の一部を助成した。</p>	<p>通年</p>	<p>14校</p>
<p>校外学習支援</p>	<p>坂本龍馬や幕末を知るための校外学習の場として、来館した学校に対し、坂本龍馬や幕末の説明を行った後、学校側の希望に応じて、見学に際し、学習観点に応じたワークシートを作成、配布して学習の充実に繋げた。</p>	<p>通年</p>	<p>32校</p>
<p>館広報誌「飛騰」の発行</p>	<p>年4回発行した。(館のトピックス、学芸員コラム、企画展の紹介など)</p>		

<p>講演会等への 講師派遣</p>	<p>坂本龍馬や土佐の幕末史について、広く理解を深めていただくために、学芸員を様々な講演会等の講師として派遣し、坂本龍馬の歴史的役割や、歴史の意義深さに対する関心や、さらなる理解を促進した。</p> <p>①高知市介良デイサービス事業 生涯学習講座 ②令和2年度高知県地域通訳案内士育成研修 ③香南市夜須町高齢者生涯学習講座 ④高知市潮江文化センター生涯学習 ⑤南国市鳶が池中学校人権学習 ⑥高知県立大学「地域学実習Ⅰ」</p>	<p>①R2. 7. 15(水) ②R2. 11. 7(土) ③R2. 11. 12(木) ④R2. 11. 18(水) ⑤R2. 11. 20(金) ⑥R2. 9. 24(木) R2. 10. 11(日) R2. 12. 5(土)</p>	<p>—</p>
------------------------	--	--	----------

オ その他事業

事業名	内容	実施日	参加人員 (人)
高知県立坂本龍馬記念館スタンプラリー	令和2年度に実施した企画展及び連続講演会に参加した方で希望者に対してスタンプを押印。スタンプの数に応じた景品（当館オリジナルグッズ）を進呈した。	R2. 7. 7(火) ～R3. 2. 28(日)	—
第47回龍馬まつり in 桂浜の参加	公益社団法人 高知市観光協会が実施する「第47回龍馬まつり in 桂浜」の協賛し、桂浜地域施設と連携した誘客に努め、桂浜全体の賑わいの一端を担った。	R2. 11. 15(日)	1,327 (当日入館者数)
ウォーキングイベント史跡巡り	「高知のまちと幕末人物銅像めぐり」 「令和の時代に幕末偉人に出会う！」をテーマに、龍馬をはじめ幕末の偉人たちの銅像をめぐったウォーキングイベントを実施。コースの途中にある町名や橋の名前の謂れ、銅像の説明などの解説を聞きながら歩き、思いがけない地域の歴史に触れ、新たな発見を提供した。	R2. 12. 6(日)	19

(5) 文学館

令和2年度は指定管理者第4期の2年目であり、運営の基本方針に基づき、展覧会や企画展等を通して、ゆかりの作家の顕彰や土佐文学の魅力を伝え、県民の文学への関心を高める取り組みを行った。

企画展覧会では、2階吊り天井脱落対策工事に加え、新型コロナウイルス感染拡大防止の影響で延べ5ヶ月間の休館があったため、自主企画展2本の開催となった。

常設展示では、中山高陽、黒岩涙香、田岡嶺雲の3人の作家の入れ替えを行い、いつ来館しても新しい文学との出会いを感じ、顕彰作家を深く理解してもらえるよう努め、企画コーナーでは、「スポーツと文学～作家がとらえた躍動の一瞬。物語る文学～」として、前期はオリンピックに焦点をあて、取材記事やエッセイなどを、後期は物語の場面に描かれたスポーツ（武芸）について紹介した。

寺田寅彦記念室ミニコーナーでは、「3.11文学館からのメッセージ 寺田寅彦と地震8 高知の作家が向き合った地震2」を開催し、「宮尾文学の世界」室では、「宮尾登美子の軌跡～直木賞作家として～」と題し、直木賞受賞までの道のりと受賞作『一絃の琴』について詳しく紹介した。

教育普及事業では、文学マイスター講座や紙芝居ボランティア公演などの開催をはじめ、市民講座など外部からの要請にも対応し講師として職員の派遣なども行った。児童生徒文学作品朗読コンクールは中止となったが、朗読の会、出張朗読など、朗読を通して文学を身近に感じていただける取り組みも行い、おはなしキャラバンについては、近年申し込みが多く、放課後児童クラブ等を中心に公演を行った。

広報活動については、館報「藤並の森」を年4回発行、年間イベントガイドの発行、臨時休館中にはホームページの顕彰作家部分の内容を充実、目次追加による検索利便性の向上、ブログの活用など、随時更新を行うことで最新の情報提供が出来るように努めた。

また、2年度も収蔵庫の燻蒸作業を行うとともに、I PM (Integrated Pest Management/総合的有害生物管理)の一環として、開館前に職員全員が交代で展示室の点検・見回りを行うなど、資料の保存・保護作業を通して良好な観覧環境の確保に努めた。

ア 文学館利用状況

種別	入館者(人)	料金(円)	備考
主催	常設展	574	(入館者内訳) ・一般 : 4,284人 ・小中高生 : 3,008人 ・長寿者等 : 2,192人
	企画展	8,910	
	計	9,484	
ホール	768	48,060	※ 利用件数 : 63件 (57件)
茶室	422	103,530	※ 利用件数 : 51件 (1件)
合計	10,674	2,060,580	

*件数は貸出区分(午前・午後・全日)でカウント、()内は、使用料免除の件数

イ 展覧会

(ア) 企画展

企画展名	開催期間	開催日数 (休館日除く)	観覧者数
自主企画展 シンデレラ展 ～語り継がれる幸せの魔法～	新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止 *令和3年度に延期		

自主企画展 ウルトラとくさつワールド空想特撮大作戦 ～ウルトラマンと夢見る未来～	R2. 7. 4 (土)～ R2. 9. 6(日)	65日間	7, 923人
自主企画展 「百花繚乱 ～高知の女性文学史～」展	R3. 1. 16(土)～ R3. 3. 21(日)	65日間	987人
合 計		130日間	8, 910人

*臨時休館 4/10～5/10 (新型コロナウイルス感染拡大防止) 6/18～20 (収蔵庫燻蒸、特別清掃)
9/7～12/26 (2階吊り天井脱落防止工事) 12/27～1/1 (年末年始休館)

(イ) 常設展

区 分	テーマ内容	会 期
常設展示室	収蔵資料を中心にローテーション方式で入れ替えを行い、60数名の顕彰作家等を紹介している。 令和2年度は、その中から新しく、中山高陽、黒岩涙香、田岡嶺雲を紹介し、高知の文学者と作品の魅力をわかりやすく伝えた。	R2. 4. 1 (水) ↓ R3. 3. 31 (水)
常設展示室 (企画コーナー)	「スポーツと文学～作家がとらえた躍動の一瞬。物語る文学～」として、前期はオリンピックに焦点をあて、取材記事やエッセイなどを、後期は物語の場面に描かれたスポーツ (武芸) について紹介した。	R2. 4. 1 (水) ↓ R3. 3. 21 (日)
寺田寅彦 ミニ企画コーナー	「3. 11文学館からのメッセージ 寺田寅彦と地震8 高知の作家が向き合った地震2」を開催した。	R2. 4. 1 (水) ↓ R3. 2. 27 (土)
宮尾文学の世界	「宮尾登美子の軌跡～直木賞作家として～」と題し、直木賞受賞までの道のりと受賞作『一絃の琴』について詳しく紹介した。	R2. 4. 1 (水) ↓ R3. 3. 31 (水)

ウ 教育普及事業

事業名	会 期	回数	参加者(人)
文学マイスター講座	R2. 4. 1(水) ～ R3. 3. 31(水)	5	78
児童生徒文学作品朗読コンクール	新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止		
朗読の会	R2. 4. 1(水) ～ R3. 3. 31(水)	3	126
出張朗読会	R2. 4. 1(水) ～ R3. 3. 31(水)	3	55
記念講演会 (企画展関連)	R2. 4. 1(水) ～ R3. 3. 31(水)	1	44
ギャラリートーク (企画展開催中毎土曜日)	R2. 4. 1(水) ～ R3. 3. 31(水)	23	250
語りと紙芝居の会	R2. 4. 1(水) ～ R3. 3. 31(水)	6	64
おはなしキャラバン	R2. 4. 1(水) ～ R3. 3. 31(水)	26	1, 964
土佐近世文学研究会	R2. 4. 1(水) ～ R3. 3. 31(水)	22	139
職員による講義等	R2. 4. 1(水) ～ R3. 3. 31(水)	12	309
その他企画展関連イベント *スタンプラリーは全実施日をカウント	R2. 4. 1(水) ～ R3. 3. 31(水)	78	7, 891
参加者合計			10, 920

エ こども対象事業（☆再掲）

事業名	実施時期	回数	参加者(人)	備考
児童生徒文学作品 朗読コンクール	新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止			
おはなしキャラバン	R2.4.1(水)～ R3.3.31(水)	26	1,964	

オ カルチャーサポーターの活動概要

活動内容	登録数※	活動回数	参加延人数
イベント補助	11名	1回	3名
紙芝居普及・読み聞かせ	38名	26回	44名
資料整理	7名	25回	25名
草の根広報	27名	2回	54名
朗読活動	32名	6回	18名
文学散歩	3名	0回	0名
合計	118名	60回	144名

* 令和2年度末カルチャーサポーター認定者は69名

(6) 埋蔵文化財センター

受託事業として開発等に伴う埋蔵文化財の発掘調査を行うとともに、指定管理業務として高知県立埋蔵文化財センターの施設管理及び出土文化財保管管理活用事業並びに埋蔵文化財保護推進のための広報普及事業を実施した。

ア 発掘調査受託事業

国土交通省（県教育委員会から再委託）から委託を受け、平成27～30年度にかけて発掘調査を行った高田遺跡・東野遠山遺跡の報告書を公刊した。

県からの委託業務では、都市計画道路高知南国線建設に伴う若宮ノ東遺跡及び都市計画道路はりまや町一宮線建設に伴う新堀川護岸石垣の発掘調査及び整理業務を行った。県道甲殿弘岡上線建設に伴う森山城跡では、発掘調査を行い、整理業務は翌年に繰り越した。

高知城跡梅ノ段北側石垣発掘調査及び高知城本丸石垣カルテの作成並びに第26番札所金剛頂寺の発掘調査等については、県文化財課から委託を受け実施した。

また、(公財)土佐山内記念財団から委託を受け、災害によって損傷した土佐山内家墓所の石垣修復のための基礎資料を得るために発掘調査を行った。

令和2年度の受託契約事業費は約2億5千5百万円であった。

事業主体	調査名	受託金額(円)	遺跡名等	調査場所	内容	面積(m ²)
国土交通省	南国安芸道路	4,994,000	下井地区 (高田遺跡) 東野地区 (東野遠山遺跡)	香南市野市町	整理	0
高知県	都市計画道路 高知南国線	100,760,000 (発掘 66,658,974) (整理 34,101,026)	若宮ノ東遺跡	南国市篠原	発掘 整理	2,403
	県道甲殿弘岡 上線	61,862,000 (発掘 57,187,000) (整理 4,675,000)	森山城跡	高知市春野町	発掘 整理	2,160
	都市計画道路 はりまや町一 宮線	59,290,000 (発掘 44,869,000) (整理 14,421,000)	新堀川護岸石垣	高知市はりまや町 ～桜井町	発掘 整理	1,200
	高知城梅ノ段 発掘調査 高知城跡石垣 カルテ	17,732,000 (発掘 7,931,000) (整理 2,772,000) (カルテ 7,029,000)	高知城梅ノ段北側 石垣 高知城本丸石垣	高知市丸の内	発掘 整理 カルテ	88 0 460
	歴史生き生き! 史跡等総合活 用整備	8,250,000	土佐藩主山内家墓 所	高知市筆山	発掘	33
		1,650,000	第26番札所金剛頂 寺	室戸市元	発掘	16
	254,538,000					

イ 埋蔵文化財センター指定管理事業

(ア) 埋蔵文化財センターの利用状況

利用内容	人数	備考
入館者数	3,947人	大人 3,072人 小人875人
館外利用者数	3,074人	親子考古学教室 358人 企画展シンポジウム 100人 特別展記念講演会 51人 出前考古学教室 1,906人 地域展「土佐市の遺跡展」 212人 地域展 講演会 78人 地域展 ワークショップ 13人 地域展 ギャラリートーク 26人 考古学から学ぶ史跡の見方 63人 山城講座と城歩き 62人 イオンワークショップ 中止 遺跡発掘現地説明会 205人
利用者総数	7,021人	

(イ) 展示会及び入館者数

a 埋蔵文化財センター内展示会

展示会	会期	入館者数(人)	備考
30周年記念企画展	R2. 4. 26(日)～R2. 7. 5(日)	1,063	長宗我部の時代
巡回展	R2. 7. 12(日)～R2. 9. 13(日)	1,140	四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展「四国の風土と暮らしー海と人々2 古墳時代～近世ー」
30周年記念特別展	R2. 10. 11(日)～R3. 4. 2(金)	1,587	発掘の軌跡ー遺跡で紡いだ高知の歴史ー
	その他の期間の入館者	157	
	計	3,947	

b 埋蔵文化財センター外展示会

展示会	会期	入館者数(人)	備考
地域展	R3. 2. 6(土)～R3. 2. 23(火・祝)	212	土佐市の遺跡展 (土佐市複合文化施設つないで)

c 展示報告会・ギャラリートーク

内容	実施日	参加人員(人)	備考
第1・2回ギャラリートーク	R2. 4. 26(日)	中止	30周年記念企画展
第1回展示報告会	R2. 5. 17(日)	中止	〃
第3・4回ギャラリートーク	R2. 7. 12(日)	19	巡回展
第2回展示報告会	R2. 8. 30(日)	19	〃
第5・6回ギャラリートーク	R2. 10. 11(日)	20	30周年記念特別展

第3回展示報告会	R3. 1. 11(月・祝)	16	〃
第7回ギャラリートーク	R3. 2. 7(日)	26	地域展
第8・9回ギャラリートーク	R3. 2. 11(木・祝)	11	30周年記念特別展
第10・11回ギャラリートーク	R3. 3. 7(日)	6	〃
	計	117	

※ギャラリートークはR3. 2. 7(日)を除き、午前・午後2回開催。

d 展示関連企画

内容	実施日	参加人員 (人)	講師	会場
30周年記念企画展 シンポジウム 「長宗我部の城と桐紋 瓦の謎」	R3. 2. 21(日)	100	滋賀県立大学教授 中井 均 高知県立高知城歴史博物館 館長 渡部 淳	高新文化 ホール
30周年記念特別展 記念講演会 「シンボリズムで読み 解く縄文人の世界観」	R2. 11. 3(火・祝)	51	札幌医科大学客員教授 大島 直行	高知城ホール
地域展 講演会 「土佐市上ノ村遺跡の 近世護岸石垣について」	R3. 2. 14(日)	78	石川県金沢城調査研究所名 誉所長 北垣 聡一郎	土佐市複合 文化施設 つな一で
	計	229		

(ウ) 公開講座

a まいぶん講座

講座内容	実施日	参加人員(人)	備考
旧石器ねつ造事件20年を振り返る	R2. 10. 25(日)	35	埋蔵文化財センター
高知の発掘30年	R2. 11. 29(日)	20	〃
弥生文化の成立と田村遺跡	R2. 12. 20(日)	20	〃
高知県の考古学30年を振り返る (座談会)	R3. 1. 17(日)	18	〃
	計	93	

b 遺跡解説会

講座内容	実施日	参加人員(人)	備考
若宮ノ東遺跡	R2. 4. 29(水・祝)	中止	埋蔵文化財センター
新堀川護岸	R2. 6. 14(日)	25	〃
	計	25	

c 親子考古学教室（火起こし・勾玉づくり等）

回数	実施日	参加人員 (人)	回数	実施日	参加人員 (人)
第1・2回	R2. 7. 23(木・祝)	55	第19・20回	R2. 8. 10(月・祝)	67
第3・4回	R2. 7. 24(金・祝)	55	第21・22回	R2. 8. 12(水)	58
第5・6回	R2. 7. 26(日)	61	第23・24回	R2. 8. 14(金)	60
第7・8回	R2. 7. 29(水)	4	第25・26回	R2. 8. 16(日)	61
第9・10回	R2. 7. 31(金)	13	第27・28回	R2. 8. 19(水)	60
第11・12回	R2. 8. 2(日)	62	第29・30回	R2. 8. 21(金)	58
第13・14回	R2. 8. 5(水)	59	第31・32回	R2. 8. 23(日)	57
第15・16回	R2. 8. 7(金)	66	第33・34回	R2. 8. 25(火)	14
第17・18回	R2. 8. 9(日)	58	計		868

d 古代ものづくり体験教室(ガラス勾玉づくり・勾玉づくり・銅鏡づくり・土器づくり等)

回数	実施日	参加人員 (人)	備考
第1・2回	R2. 5. 31(日)	—	中止
第3・4回	R2. 6. 21(日)	15	午前・午後2回開催
第5・6回	R2. 7. 5(日)	44	〃
第7・8回	R2. 9. 13(日)	53	〃
第9・10回	R2. 10. 18(日)	28	〃
第11・12回	R2. 12. 13(日)	27	〃
第13・14回	R3. 1. 24(日)	37	〃
第15回	R3. 2. 28(日)	—	中止
第16・17回	R3. 3. 14(日)	26	午前・午後2回開催
計		230	

e まいぶんセンターまつり

内容	実施日	参加人員 (人)	備考
ものづくり体験教室、火起こし体験、バックヤードツアー等	R2. 11. 15(日)	—	中止

f 考古学研究最前線解説会

内容	実施日	参加人員 (人)	備考
城郭構造の変遷	R2. 6. 28(日)	41	埋蔵文化財センター
土佐の絵画土器	R2. 9. 6(日)	24	〃
計		65	

g 考古学から学ぶ史跡の見方

内容	実施日	参加人員 (人)	備考
屋嶋城跡（香川県高松市）	R2. 5. 24(日)	—	中止（バスツアー）
香宗城跡・宝鏡寺跡（香南市）	R2. 11. 23(月・祝)	31	現地集合
佐川土居屋敷跡（佐川町）	R3. 1. 31(日)	32	〃
計		63	

h 山城講座と城歩き

内容	実施日	参加人員 (人)	備考
講座 1	R2. 5. 10(日)	中止	埋蔵文化財センター
講座 2	R2. 11. 1(日)	38	〃
姫野々城跡 (津野町)	R2. 12. 6(日)	27	現地集合
蓮池城跡 (土佐市)	R3. 2. 23(火・祝)	35	現地集合
	計	100	

(エ) 学校・団体対象事業

a 出前考古学教室

実施期間		実施回数	内訳			参加人員 (人)
			学校授業	学校関係行事	その他団体	
前期	R2. 5. 11(月)~R2. 8. 1(土)	43	42回 (41校)	—	1回	1,614
後期	R2. 9. 4(金)~R3. 3. 5(金)	10	6回 (6校)	4回	—	292
	計	53	48回 (47校)	4回	1回	1,906

b 団体見学

団体名	見学日	参加人員 (人)	内 訳		内 容
			引率者	児童等	
南国市立大篠小学校 3年	R2. 7. 1 (水)	143	9	134	館内見学、展示見学、遺跡学習
南国市社会福祉協議会	R2. 7. 8 (水)	8	2	6	館内見学、銅鏡づくり
高知市青蘭会	R2. 9. 6 (日)	22	0	22	勾玉づくり
いの町立伊野小学校	R2. 10. 2 (金)	51	3	48	勾玉づくり、火起こし体験
土佐市立高岡第二小学校	R2. 10. 29(木)	27	4	23	展示見学、勾玉づくり
いの町立伊野南小学校	R2. 11. 2 (月)	34	3	31	勾玉づくり
茶道裏千家淡交会高知青年部	R2. 11. 8 (日)	20	0	20	遺跡学習、展示解説
須崎市立安和小学校	R2. 11. 11(水)	—	—	—	中止
仁淀川町立別府・長者小	R2. 11. 24(火)	19	4	15	展示見学、火起こし体験
四万十市立東中筋小学校	R2. 12. 2(水)	20	4	16	展示見学、館内見学
土佐観光ガイドボランティア協会	R3. 1. 18(月)	26	0	26	講演、展示解説
南国市社会福祉協議会	R3. 2. 10(水)	6	1	5	館内見学、銅鏡づくり
香南市教育支援センター	R3. 2. 18(木)	7	3	4	勾玉づくり、整理作業見学
放課後デイサービス「ポルカ」	R3. 3. 29(月)	14	4	10	勾玉づくり
	計	397	37	360	

(オ) 職場体験受入

体験内容	受入校名	受入人員(人)	備考
発掘現場体験、整理作業体験、遺物検索作業体験、館内見学等	—	—	中止

(カ) 講師派遣

派遣内容	実施日	講師	場所
伊野公民館に展示するバーガ森北斜面遺跡の出土品についての展示指導	R2. 5. 12(火)	吉成 承三 坂本 裕一	いの町立図書館
令和2年度学術研究・文化学術振興活動助成金(山内基金)審査会委員	R2. 6. 2(火)	吉成 承三	高知県立高知城歴史博物館
鬼ヶ岩屋洞穴試掘調査の技術指導・助言について	R2. 7. 13(月)～ 8. 31(月)	吉成 承三 久家 隆芳	香南市文化財センター 他
埋蔵文化財包蔵地の試掘調査の助言指導(津野町)	R2. 8. 3(月)	吉成 承三	永林寺跡(高岡郡津野町)
八王子宮の石垣修繕、高照寺地藏堂の修繕及び公儀の井戸の寄付についての助言指導	R2. 8. 5(水)	久家 隆芳	香美市役所 他
令和2年度「佐川学」講座の講師「遺跡から見る佐川の歴史」	R2. 11. 11(水)	坂本 裕一	高知県立佐川高等学校
令和2年度第2回史跡高知城跡整備計画推進委員会(石垣部会)	R3. 1. 20(水)	松田 直則 吉成 承三 筒井 三菜	高知城ホール
市民講座「遺跡から見た鎌倉時代の土佐」講師	R3. 2. 6(土)	山崎 孝盛	江ノロコミュニティーセンター
令和2年度第3回史跡高知城跡整備計画推進委員会(石垣部会)	R3. 2. 13(土)	松田 直則 吉成 承三 筒井 三菜	高知城ホール